



ふるさと*い*わて創造協議会全体会議を開催しました

「ふるさと*い*わて創造協議会」(会長・岩渕明 岩手大学長)の全体会議が7月7日、自治体、産業界、高等教育機関など関係者約90人が出席し、岩手大学復興祈念銀河ホールにて開催されました。岩渕会長の挨拶ののち、柴田亮 岩手大学COC推進室特任准教授より平成27年度の事業実績について、小野寺純治 ふるさと*い*わて創造プロジェクト推進コーディネーターより平成28年度の事業計画について説明が行われ、了承されました。今年度の事業計画では、多様なインターンシップの展開や起業家人材育成に重点を置いて取り組むこととしています。また、今回新たに二戸市、雫石町の参加が承認され、事業協働機関は35機関になるとともに、協力大学として立教大学の参加についても決定しました。



福井県経営者協会専務理事
嶋岡 伸行 氏



NPO法人wiz理事
黒沢 惟人 氏

全体会議の後のシンポジウムでは、「*い*わてのインターンシップを考える」と題して船場ひさお 岩手大学COC推進室特任准教授のコーディネートのもと、嶋岡伸行 福井県経営者協会専務理事、高橋郁磨 岩手県立大学インターンシップ推進マネージャー、黒沢惟人 NPO法人wiz理事によるインターンシップの取り組みに関する事例紹介とパネル・ディスカッションが行われました。

今年度より、協議会の下に「ふるさと*い*わて創造部会」、「教育プログラム開発部会」が設置され、さらに、ふるさと*い*わて創造部会の作業部会として「地域定着ワーキンググループ」と「雇用創出ワーキンググループ」が組織されており、より一層の円滑な事業推進が期待されます。

県内参加高等教育機関の平成27年度県内就職状況

県内参加高等教育機関の平成27年度県内就職の状況がまとまりました。機関全体で見た県内就職率は45%と平成26年度実績から横ばいの状況であり、目標値の47%を下回る結果となりました。機関別に見た場合でも、いずれの機関においても目標値を下回っています。目標値に届かなかった理由として、◆首都圏を中心とする県外企業の採用活動が旺盛であったこと、◆学生の就職活動時期とCOC+事業の開始時期とにずれがあり、事業協働機関の連携による地域定着に向けた活動を行う前に大半の学生の内定が決まっ

てしまっていたことなどが考えられます。事業開始2年目を迎え推進体制も整い、本格的な事業実施年度となる今年度は、本事業の目標である「県内就職率10%向上」の達成に向けて、取り組みを加速させていきます。

	平成26年度 実績値	平成27年度	
		目標値	実績値
県内参加高等教育機関 地元就職率	45%	47%	45%

北上市、岩泉町、岩手県中小企業団体中央会のインターンシップの取り組み

県内の自治体、経済団体などでは今年度のインターンシップの取り組みが本格化しています。

自治体ではインターンシップに伴う学生の金銭面の負担を軽減し、地元の企業や地域の魅力を知ってもらう事業が展開されています。北上市では、市内の企業でインターンシップを行う学生に対し、市内のJR駅もしくは自宅からインターンシップ先企業までのタクシー料金の助成を行って

インターンシップ先への交通のお悩み解決!

実施主体: 北上雇用対策協議会
2024年度岩手県北上市委託事業

北上市内のJR駅・自宅からインターンシップ先(北上市内の企業)までのタクシー料金を助成します

対象者 平成28年度に北上市内の企業へインターンシップに参加する学生(高校生を除く)。インターンシップ先が、実施年度に北上市内にある。

助成内容 インターンシップ参加日数につき、2枚(往復分)のタクシー券を配布します。

申請手続き インターンシップ参加の週間前までに、北上雇用対策協議会まで申請書を提出してください。申請書は協議会からダウンロードできます。

※インターンシップ先が北上市内以外の場合、申請書に「北上市外にインターンシップ先がある場合は、北上市外にインターンシップ先がある旨を記載してください。申請書は協議会からダウンロードしてください。」

協賛企業
岩手県中小企業団体中央会
北上市産業振興課
岩手県労働政策センター
岩手県観光局
〒987-0801 北上市本町1-1-1
TEL 0192-33-1111 FAX 0192-33-1112

http://www.kitakami.or.jp/

北上市によるインターンシップ先企業までのタクシー料金助成

中小企業庁・東北経済産業局委託事業

経営課題解決型インターンシップ 参加者募集! 第1弾

経営課題解決型インターンシップとは?

経営課題解決型インターンシップとは、中小企業・小規模事業者の経営課題を解決するために、学生が3人程度でチームを編成し、チーム型のインターンシップを行うなかで中小企業の経営革新や課題解決に取り組むものとなっています。

募集要項

1. 対象者	平成28年度に北上市内の企業へインターンシップに参加する学生(高校生を除く)。
2. 募集期間	2024年10月1日(水)～10月31日(木)。
3. 募集枠	10名(3人程度でチームを編成)。
4. 応募方法	応募書類を提出してください。
5. 応募先	岩手県中小企業団体中央会。

岩手県中小企業団体中央会 企画課
〒980-0801 岩手県盛岡市大町1-1-1
TEL 0196-33-1111 FAX 0196-33-1112

岩手県中小企業団体中央会の経営課題解決型インターンシップ

います。また、岩泉町では、「岩泉型インターンシップ」として、町内の協力企業・団体のインターンシップに参加する学生に対し、7泊8日の滞在費及び往復の交通費(盛岡-岩泉間)を全額助成する事業を実施します。就業体験とともに地域への理解を深めてもらうことで、定住促進につながる事が期待されています。

一方、経済団体の動きとしては、岩手県中小企業団体中央会において、中小企業庁・東北経済産業局委託事業として「経営課題解決型インターンシップ」が実施されます。これは従来の職業体験型のインターンシップとは異なり、学生が3人程度でチームを編成し、チーム型のインターンシップを行うなかで中小企業の経営革新や課題解決に取り組むものとなっています。

県内ではこうした先進的なインターンシップの取り組みが広がっています。岩手の未来を担う若者が地域で活躍できるよう、インターンシップを通じた地域の理解と地元定着の促進に向けて、関係団体とのより一層の連携を図っていきます。

起業家人材育成道場(仮称)を開講します

ふるさといわて創造プロジェクトの一環として、10月より起業家人材育成道場(仮称)を開講します。このプログラムは岩手県からの委託により事業協働機関の岩手大学、岩手県立大学、同大盛岡短期大学部、同大宮古短期大学部、富士大学、盛岡大学、一関工業高等専門学校等の学生を対象に、まちづくり、食、観光、伝統工芸などをテーマに県内の起業家・事業家と一緒に地域課題に取り組みながら、起業に必要な知識やリーダーシップ・コミュニケーション能力を備えた学生を育成することを目的としています。

赤木徳頭 岩手大学COC推進室特任教授が運営する全15回の授業では、三陸復興、ものづくり、農業、林業等様々な分野で活躍する「地域リーダー」の起業家・事業家をメ

ンター(指導者)として迎え、県内でのフィールドワークなど現場での実践を中心に地域課題に取り組むことを通じて起業家精神を養います。

プログラムは正課外の授業であり単位取得はできませんが、起業やまちづくりへの関心が高く熱意ある学生が正課の体系立った学修に加え、本プログラムでメンターと触れ合い、指導を受けることで、より実践的な能力を身に付けたいいわて創造人材の育成を目指します。

半年を1サイクルとして授業を行い、学生自身によるプロジェクトの立ち上げ、地域リーダーとのプロジェクト継続やインターンシップなど、修了後の取り組みについてもサポートを行う予定です。

起業家人材育成道場(仮称)運営担当教員の紹介

今年6月より起業家人材育成道場(仮称)の担当として着任致しました赤木徳頭と申します。

私は野村総合研究所シリコンバレー拠点勤務後に独立起業し、その後の16年間は主にIT、食、農業系のベンチャーを数社手掛けてきました。ここ最近では地産地消レストラン「80*80」の経営や、消費者と農家をつなぐ情報誌「神奈川食べる通信」の編集長を務め、ソーシャル・ベンチャーとの連携を深めてきました。

私の今までの経験を活かしながら、この道場では参加学生

が、岩手の各地域で頑張っている起業家や地域リーダーに伴走して頂きながら、ビジネス手法を学びつつリアルな地域課題に対して挑んでいきます。その過程で、学生が不確実な時代でも価値を生み出すことのできる能力を身につけ、これからの人生においてタフに生き抜く力を養ってもらいたいと思っております。よろしく願い致します。

